

～視聴率、出口調査、さくらの開花予想、すべては統計学で見えてくる～

『図解 統計学超入門』 発刊

12月15日（土）刊行/あさ出版

株式会社あさ出版（代表取締役：佐藤和夫、所在地：東京都豊島区）は、高橋 洋一 著『図解 統計学超入門』を2018年12月9日（日）に刊行いたします。本書は、「統計学」をテレビの視聴率、選挙速報（出口調査）偏差値など身近な話題用いて、重度の数字アレルギーを持つ人でも興味をもって読み進められるように、編集した1冊。懇切丁寧にイラストなどを用いて“基本のき”から解説しています。

統計学が導く意外な事実

視聴率は、±2%の誤差があるもの

ビデオリサーチ社が公表しているデータによると、関東地区（約1800万世帯）においては、「標本数900の場合、信頼度95%で考えると、視聴率10%での、考慮すべき標本誤差は± 2.0%」としています。これを例えば誤差を±1.0%にするためには標本数は、4 倍の3600 が必要となってしまう、かかるコストと結果が見合わない結果となってしまう。逆を言えば1800万世帯がどの番組をどのくらい見ているかというデータを、たった900世帯分を調査することによって、ほんの± 2 %の誤差で、明らかにすることができるのです。統計学の力で少ないサンプルで全体を当てることができる例の一つです。本書では、統計学で見えてくる世の中の流れについて、小泉内閣・第一次安倍内閣ではブレーンとして活躍した著者が、わかりやすく説明いたします。

書籍名：図解 統計学超入門

刊行日     : 2018年12月21日（日）

価格       : ￥ 1,400（税別）

ページ数   : 168ページ

著者名     : 高橋 洋一

ISBNコード : 9784866671048

【目次】

プロローグ   そもそも「統計学」とは？—“お金”と“労力”のムダをはぶく！

1章   ヒストグラム、平均値、分散、標準偏差—「統計学」は、ここからはじめよう！

2章   正規分布—もっともポピュラーな「分布の王様」

3章   二項分布—世の中の“さまざまな現象”がここにある

4章   正規分布と二項分布—「重要」なこの二つの分布の関係とは？

5章   視聴率・出口調査のカラクリ—「世の中の不思議」は統計学で解明されるおわりに

【著者プロフィール】

1955年東京都生まれ。東京大学理学部数学科・経済学部経済学科卒業。博士(政策研究)。1980年に大蔵省(現・財務省)入省。大蔵省理財局資金企画室長、プリンストン大学客員研究員、内閣府参事官(経済財政諮問会議特命室)、内閣参事官(首相官邸)等を歴任。小泉内閣・第一次安倍内閣ではブレーンとして活躍し、「霞が関埋蔵金」の公表や「ふるさと納税」「ねんきん定期便」など数々の政策提案・実現をしてきた。また、戦後の日本で経済の最重要問題ともいえる、バブル崩壊後の「不良債権処理」の陣頭指揮をとり、不良債権償却の「大魔王」のあだ名を頂戴した。

2008年退官。現在、嘉悦大学ビジネス創造学部教授、株式会社政策工房代表取締役会長。第17回山本七平賞を受賞した『さらば財務省! 官僚すべてを敵にした男の告白』(講談社)など、政治、経済、会計学などに関するベスト・ロングセラー多数。

